

大震災地元記者 PTSD疑い2割

【発生1年後 120人調査】

大災害や大事故を体験した人々の身体に不調が表れる「惨事ストレス」。被災者や遺族らを取材したジャーナリストにも同様の症状が表れることが分かってきた。東日本大震災を取材した地元新聞社の社員らを対象に行われた調査では、発生1年後でも「心的外傷後ストレス障害」(PTSD)の疑いのある記者が2割を超えた。研究グループは6月に報告書をまとめる予定だ。【壺宏士】

記者やカメラマンらジャーナリストを対象にした惨事ストレス研究は1カ月を過ぎたあたりから大きくしているのは、社会心理学者らでつくる「報道人ストレス研究会」(代表、松井豊・筑波大教授)。東日本大震災の発生直後からジャーナリストの惨事ストレスに関する文書をホームページに掲載し、注意を呼びかけた。より質の高い取材のためには、自分の状態を知り、被災者との関係をうまく築くことが必要と考えたからだ。



東電電力福島第1原発から20キロ圏内、防護服を着て取材する報道関係者。福島県南相馬市原町区小浜で2011年4月1日、佐藤泰則撮影

- ▽涙もろくなった 41.7%
- ▽強い無力感や悔しさを覚えた 38.3%
- ▽憂鬱になった、気がめいるようになった 32.5%
- ▽睡眠障害 28.7%
- ▽無気力感や脱力感、極度の疲労感を覚えやすくなった 26.7%
- ▽震災に関連するいやな夢や悪夢をよく見た 25.0%
- ▽怒りっぽくなった、感情的になり言葉が鋭くなった 24.2%
- ▽飲酒または喫煙量が増加したか、逆に減少した 23.3%
- ▽食欲不振・胃腸の調子が悪くなった、多く食べるようになった 18.3%
- ▽強い罪悪感や自分を責める気持ちを持った 15.8%
- ▽何かのきっかけで現場の光景や音がよみがえることがあった 14.2%
- ▽取材よりも救援活動に当たるべきではないかと悩んだ 13.3%
- ▽現場での取材活動中、足がすくむような感じがした 5.8%
- ▽症状はまったくなかった 11.7%

研究会は、全国紙、地方紙の労働組合でつくる「日本新聞労働組合連合」(新聞労連、日比野敬陽委員長)と協力し、東日本大震災の発生(2011年3月)から約1年後の12年2月3日、地元新聞社の記者やカメラマンらを対象に調査を行った。調査対象は、デリーー東北(青森

県)▽岩手日報(岩手県)▽河北新報(宮城県)▽福島民友(福島県)▽茨城新聞(茨城県)の5紙計270人。うち120人から回答を得た(有効回答率44.4%)。内訳は男83.3%、女16.7%。年齢別では20代30%、30代40.3%、40代28.3%など。職種別では記者68.3%、カメラマン10.8%、支局長5.8%など。

質問は21項目(複数回答)。記者自身が体験した状況は、「余震の危険がある場所で取材・報道活動を行った」が86.7%、東京電力福島第1原発事故に関連し、「放射線による被害が懸念される場所で取材・報道活動を行った」も35%、30%が「遺体を見た、あるいは遺体に触れた」。

研究会は、取材開始から1カ月間のストレス反応についても探った。「涙もろくなった」が41.7%で最も多く、「強い無力感や悔しさを覚えた」(38.3%)、「憂鬱になった、気がめいるようになった」(32.5%)「非常に」(41%)の5段階

調査にあたった川崎医療福祉大(岡山県倉敷市)の福岡欣治・准教授(臨床社会心理学)は「東日本大震災は災害の規模が大きかったことに加え、調査対象が地元新聞社の社員だったため、継続的に災害現場や被災者とかかわっていることや、記者自身が被災者でもあることが大きな要因ではないか」と分析する。

睡眠障害26%

研究会は、取材開始から1カ月間の睡眠障害についても探った。「睡眠の途中で目が覚めてしまう」(場面がいきなり頭に浮かんでくる)などの質問に、「まったくない」(0%)、「少しある」(1%)、「中々(2)」「多い」(3)、「非常に」(4)、「非常に」(5)段階

自らも被災者

調査にあたった川崎医療福祉大(岡山県倉敷市)の福岡欣治・准教授(臨床社会心理学)は「東日本大震災は災害の規模が大きかったことに加え、調査対象が地元新聞社の社員だったため、継続的に災害現場や被災者とかかわっていることや、記者自身が被災者でもあることが大きな要因ではないか」と分析する。

心的外傷後ストレス障害(PTSD)の疑いがあるかどうかを判別する調査結果

(25点以上は「疑いあり」)

0点	6.7%
1~4点	14.2%
5~9点	16.7%
10~14点	15.0%
15~19点	14.2%
20~24点	10.8%
25~29点	5.8%
30~34点	4.2%
35~39点	3.3%
40~44点	5.8%
45~49点	0.8%
50点以上	2.5%

*出来事インパクト尺度を改訂版(IES-R)による